

# 横浜市少年自然の家 赤城林間学園

## 平成27年度 事業計画書

指定管理者

公益財団法人 横浜市体育協会

## 1 基本的な考え方

赤城林間学園の位置づけ、関連行政施策、重点課題等を踏まえ、次のとおり5つの基本方針、さらに15のアクション（実施策）を定め、指定管理事業に取り組みます。

### (1) 運営方針に基づく15のアクション

基本方針1 野外活動・自然観察の拠点として価値の高い施設にします
アクション(実施策) ①「総合的な学習」をサポート ②赤城ならではの自然体験活動等を提供 ③市民ボランティアとの協働
基本方針2 安全・安心な施設にします
アクション(実施策) ④安全管理体制の強化 ⑤ユニバーサルサービスの充実 ⑥ライフサイクルコストの縮減
基本方針3 大規模グループからファミリーまで一年を通じて満足いただける施設にします
アクション(実施策) ⑦ネットワークを駆使し効率的なPR活動を実施 ⑧職員の資質向上と資格認証等の取得
基本方針4 地域に根ざした施設にします
アクション(実施策) ⑨地元人材の活用と地元経済への貢献 ⑩横浜市と昭和村との友好関係をサポート
基本方針5 SR(社会的責任)活動を実践します
アクション(実施策) ⑪モニタリングの仕組みの整備 ⑫コンプライアンス活動の徹底 ⑬PDCA サイクルによるマネジメントの推進 ⑭環境に配慮した施設管理 ⑮環境行動を促す事業の実施

### (2) 平成27年度の方針と年度達成目標

年度方針	主な取組(予定)	年度達成目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>●初年度事業の採算性等を反映した効率的な経営への改善</li> <li>●自主事業(教室事業)参加率の前年度比アップ</li> <li>●新たな施設利用の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校利用増、教室参加者増に向けた営業活動強化</li> <li>◆ノルディックウォーキングの普及活動(レンタルでのポール貸出、職員の指導ライセンス取得など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実利用者 14,708人</li> <li>過去3か年平均の9.0%増</li> </ul>

## 2 職員配置・運営体制

赤城林間学園の管理運営にあたり、必要最小限の職員体制で、安全かつ効率的な管理運営体制を構築します。

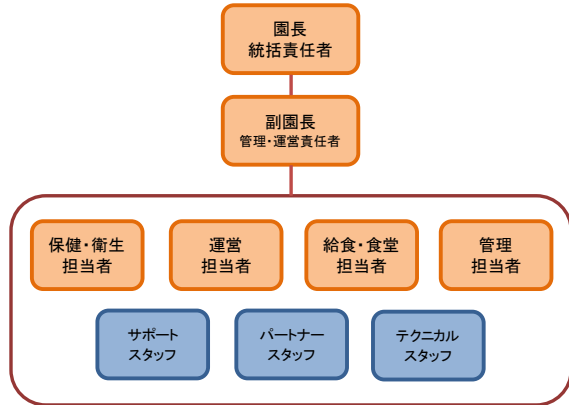
### (1)管理運営体制

#### ア 職員の配置

園長、副園長、保健・衛生担当者、運営担当者、給食・食堂担当者、管理担当者の計6名を配置します。

6名は、地元住民を採用して配置し、緊急時にはいつでも施設へ駆けつけることが可能な体制とします。

■赤城林間学園の管理運営体制



#### イ 補助スタッフの配置

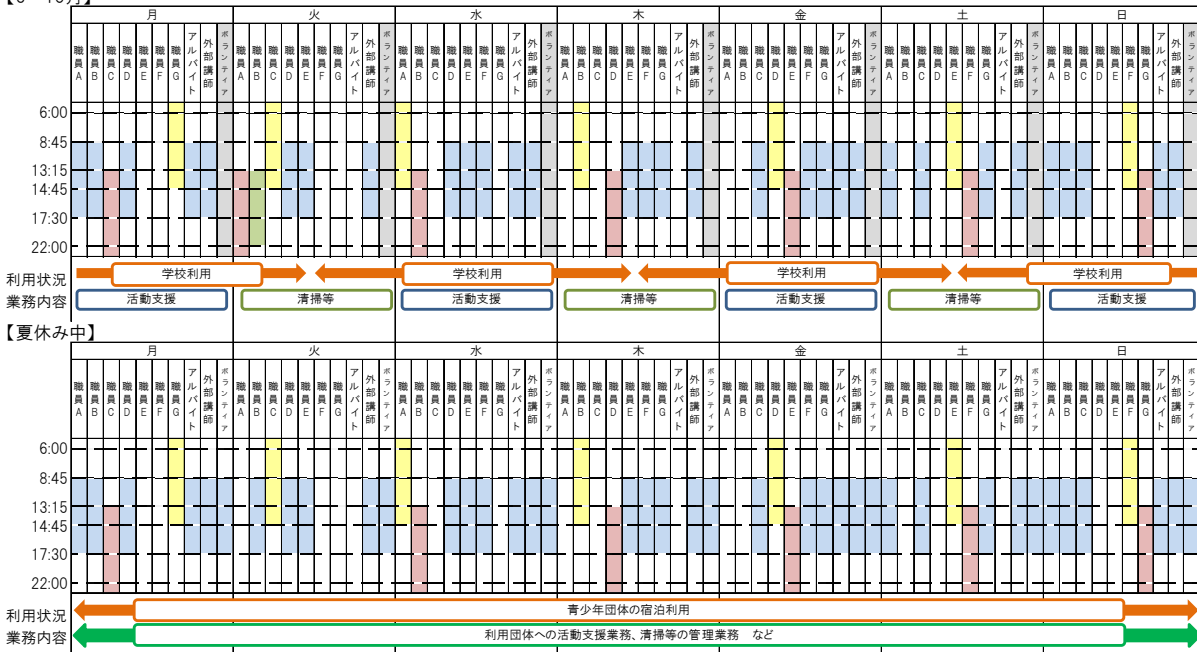
繁忙期には利用団体への支援業務、小破修繕を行うサポートスタッフをアルバイト雇用するほか、利用者への野外活動指導を行うパートナースタッフは「横浜市野外活動指導者」などの支援ボランティアを配置します。

また、こんにやく作りやうどん作りなどの指導を行うテクニカルスタッフは、専門的な技術を持つ地域人材に依頼します。

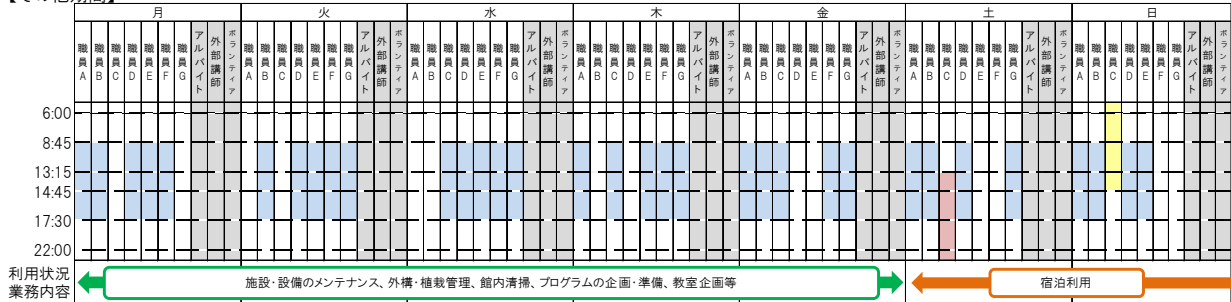
#### ウ 勤務ローテーション

利用団体の活動状況にあわせて通常、遅番、宿直勤務、休日などを組み合わせ、効率的に編成します。

■勤務ローテーション例 (5~10月)   
 ...日勤 ...遅番 ...宿直 ...宿直明け ※外部講師、ボランティアについては、利用状況やプログラムに応じて配置



【その他期間】



**エ 業務委託**

消防設備点検や温水ボイラーなど専門的な知識や技術を必要とする業務は実績と能力が高い専門業者に委託します。また、給食の調理業務については、「赤城林間学園運営協力会」に委託します。

■業務委託予定一覧

業務内容	委託先予定		業務内容	委託先予定	
特定建築物衛生管理	ケーピックス(株)	前橋市	襲雷警報装置保守点検	宥防雷社	高崎市
汚水処理施設維持管理	(有)ヒューテック・コーポレーション	藤岡市	園内管理	(社)沼田市シルバー人材センター	沼田市
自家用電気工作物保守点検	関東電気保安協会	渋川市	(外構・植栽・テント設営)		
ろ過装置保守点検	(株)オーケン・コーポレーション	沼田市	定期清掃	昭和村共栄会	昭和村
給水設備保守管理	(株)小川設備	沼田市	生ゴミ収集運搬	新栄産業(有)	昭和村
し尿浄化槽維持管理	(有)ヒューテック・コーポレーション	藤岡市	一般廃棄物収集運搬	(株)沼田環境サービス	沼田市
ボイラー保守点検	(株)小川設備	沼田市	機械警備	群馬総合ガードシステム(株)	前橋市
ボイラーばい煙測定	関東電化産業(株)	渋川市	給食調理等運営	赤城林間学園運営協力会	昭和村
暖房機保守点検	(株)小川設備	沼田市	殺虫予防	昭和村共栄会	昭和村
消防設備保守点検	コートクエレメンテ(株)	みなかみ町	水質検査	(社)群馬県薬剤師会	前橋市
地下タンク保守点検	コートクエレメンテ(株)	みなかみ町	寝具クリーニング	昭和村共栄会	昭和村

**(2) 職員研修**

研修計画に則り、協会本部や園長が中心となって職場内研修や外部研修を実施し、人材の育成を図ります。

■職員研修計画

内容
マネジメント研修
危機管理・リスクマネジメント研修
経理事務研修
施設管理・設備等技術研修
ビジネスマナー・接遇研修
個人情報保護研修
コンプライアンス研修
人権研修
上級・普通救急救命講習
ネイチャーゲーム体験会
自然観察指導員
キャンプインストラクター、キャンプディレクター2級
ノルディックウォーク体験会

### 3 施設の効用の最大限発揮

#### (1) 広報計画

教室や事業ごとに各種広報媒体を活用し、計画的な広報を行います。

##### ■主な広報手段

活字メディア	ネット	その他
広報よこはま	Facebook	学校ポストの利用
ハマふれんど	ハマスポ.com	青少年団体への周知

#### (2) 利用促進

##### ア 学校ポスト校長会への訪問

横浜市内小学校による体験学習利用の促進のため、学校ポスト活用したチラシの配布や校長会でのPR活動を行うほか、学校を直接、訪問し、学園の利用をはたらきかけます。

##### イ 市内小学校教員限定の「体験会」を開催

学園を利用したことのない市内小学校の教員に限定した1泊2日の「体験会」を開催します。

##### ウ 個人利用プランの実施

学校や青少年団体の利用がない日はすべて、家族・一般利用日として利用者の増加を図ります。

##### エ 利用日の拡大

12月28日から1月4日まで開館します。

##### オ 自主事業(教室事業)の展開による利用促進

5月のゴールデンウィークや夏休みに自主事業を開催し、利用促進をします。  
別添「自主事業」参照

##### カ 新規事業の展開

自然を満喫しながらノルディックウォーキング用のポールの貸出のほか、昭和村で開催されるサイクリングイベント「センチュリーライド」や「河岸段丘マラソン」にあわせた宿泊プランなどの設定など、新しい企画で学園の利用促進を図ります。

別添「自主事業」参照

#### (3) 利用者への支援策

##### ア 利用団体への支援

学園を安全で快適に利用していただくための支援は、①電話等での利用相談 ②来園による下見や事前打ち合わせ ③当日の最終打合せの3段階で行います。

##### イ 周辺環境を活かした豊富なプログラム提供

赤城林間学園を訪れたすべてのお客様が楽しく、安全に体験できる自然体験プ

プログラムを提供します。

## (ア) 野外生活・野外遊び

### ■野外生活・野外遊び(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
テント生活(設営)	春・夏	学園内	小学生～	常設テントの利用やテント設営によるテント生活体験
森林探検	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺の森の中で五感を使った樹木とのふれあい
ロープワーク	通年	園内	小学生～	さまざまな結び方、つなぎ方を学習
きもだめし	4月～11月	学園内	小学生～	園内の暗闇を周回し神社でお札をもらいもどってくる
草木あそび	春・夏・秋	学園周辺	幼児～	草木をつかって首飾りをつくるなどの伝承遊び
雪遊び(雪合戦など)	積雪時期	学園内	小学生～	雪だるまつくりや雪合戦など定番の雪遊び
雪中歩行(かんじき歩き)	積雪時期	学園周辺	小学生～	かんじきを履いて雪の上を歩きながら小動物の足跡探し
ノルディックウォーキング	通年	園内・学園周辺	小学生～	専用ポールを使い通常のウォーキングよりエネルギー消費量が高いウォーキング

## (イ) 自然観察・環境学習

### ■自然観察・環境学習(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
自然観察ハイキング	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺を散策しながら植物や樹木の観察
野鳥観察	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺を散歩しながら双眼鏡で野鳥を観察
星空観望	通年	学園周辺	幼児～	ナイトハイクをしながら星空を眺める
植物観察	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺を散歩しながら植物を観察
森の生き物調べ	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺の遊歩道を散歩しながら昆虫などの採集と観察
川の働き調査	通年	片品川ほか	小学生～	河原を散策しながら地層や生物などを観察
森林の役割調査	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺の遊歩道を散歩しながら森林を観察

## (ウ) 集団活動

### ■集団活動(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
ウォークラリー	通年	学園周辺	小学生～	コマ図の指示に従い課題を解決する
ナイトハイク	通年	学園敷地内	幼児～	照明の届かない森を歩き、静けさを体感する
オリエンテーリング	通年	学園敷地内	小学生～	学園内の施設を探索しながらゴールを目指す
キャンプファイア	通年	学園敷地内	小学生～	丸太の井桁をくみ、炎を囲んでレクリエーション
キャンドルファイア	通年	学園敷地内	小学生～	蜀台を囲んで、歌やレクを楽しむ
ネイチャーゲーム	通年	学園敷地内	小学生～	いろいろな形の葉っぱを探したり、自然界にある課題でゲーム
暗闇体験	厳冬期を除く	学園敷地内	小学生～	森や林の中に入り照明なしで過ごす
屋内スポーツ	通年	森の家	小学生～	バスケットボール、バレーボール、ドッジボールなど
屋外スポーツ	春・夏・秋	グラウンド	小学生～	サッカー、野球、ソフトボールなど

## (エ) 農林産業体験

### ■農林産業体験(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
野菜畑訪問(収穫)	春・夏・秋	学園近隣	小学生～	野菜作り農家を訪問し、栽培現場の話を聞く
果物狩り	春・夏・秋	学園近隣	小学生～	地元の果樹園で四季の果物狩りを楽しむ
牧場見学	通年	学園近隣	小学生～	学園近隣の牧場を訪問して話を聞き、牛とふれあう
倒木処理・間伐	春・夏・秋	学園敷地内	小学生～	風倒木の切り出し、枯れ木の伐採を体験
炭焼き	春・夏・秋	学園内	小学生～	竹や松ぼっくりなどの木の実を缶に入れて炭焼き

## (オ) 周辺施設での活動

### ■周辺施設利用(例)

施設名	季節	場所	対象	活用内容
昭和村総合運動公園	春・夏・秋	昭和村	小学生～	スポーツ団体・部活動の練習・試合
昭和村社会体育館	通年	昭和村	小学生～	スポーツ団体・部活動の練習・試合
奥利根ワイナリー	通年	昭和村	小学生～	ブドウ畑とワイン工場の見学
こんにやく工場見学	通年	昭和村	幼児～	昭和村名産のこんにやくの加工工場を見学
ぐんま昆虫の森	通年	新里町	幼児～	里山体験、昆虫観察、生態温室見学
ぐんま天文台	通年	高山村	小学生～	天文台の見学
たくみの里	通年	みなかみ町	小学生～	お面づくり、紙すき、竹細工などの体験や野仏めぐり
尾瀬	春・夏・秋	片品村	小学生～	ハイキング、高山植物観察、自然環境学習
玉原高原	通年	沼田市	小学生～	高原ハイキング、ブナ原生林散策、自然環境学習、スキー

## (カ) 園内各所でできるプログラム

### ■いつでも体験できる活動(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
ディスクゴルフ	通年	学園内	小学生～	ディスクゴルフ協会公認コースで本格的な体験ができる
卓球	通年	ホール	小学生～	ラケット・ボールを事務室で貸出し、いつでも利用ができる
草花の観察	春～秋	学園周辺	幼児～	図鑑などを見ながらのんびりと山野草の観察
木の実拾い	秋～冬	学園周辺	幼児～	松ぼっくりやどんぐり、くるみなどを拾い集めて遊ぶ
落ち葉集め	秋～冬	学園周辺	幼児～	クヌギやスダジイなど広葉樹の落ち葉集めて遊ぶ
そり遊び	冬	学園内	幼児～	積雪時に学園内のコースでそり遊び(そりのレンタルあり)
アスレチック遊び	通年	学園内	幼児～	ネットのアスレチック遊具で自由遊び
読書・資料調べ	通年	図書室	幼児～	自然や野外活動、農業などのことが調べられる図書の設置

## ウ 自主事業による支援策

プログラム名	料金	場所	対象	内容
小枝のキーホルダー	150 円	工作室ほか	小学生～	小枝を加工し、絵や色塗りをしたキーホルダー
焼き板	310 円	ピロティほか	小学生～	焼いた板に絵や文字を書いたプレート飾り
焼き板(鍋敷)	260 円	ピロティほか	小学生～	焼いた板に絵や文字を書いた鍋敷
小枝のスプーン	210 円	研修室	小学生～	木枝を柄に加工したオリジナル食器
小枝のフォーク	210 円	研修室	小学生～	木枝を柄に加工したオリジナル食器
白樺木片飾り	360 円	工作室ほか	小学生～	輪切りの白樺に絵を描いた壁飾り
写生・スケッチ	—	学園内	小学生～	四季折々の風景をスケッチ
雪の造形(灯籠・かまくら)	—	広場ほか	幼児～	スコップやバケツで雪灯籠を作り、ろうそくの灯をとめます

## エ 生活用品の販売や自動販売機の設置

近隣に商店がないことから、学園で必要となる生活用品等を販売するほか、学園内に清涼飲料水の自動販売機を設置します(4月1日から10月31日まで)

#### (4) 食事提供

##### ア 食事の提供計画

一部食材において、地元の新鮮な食材を使い、季節に合わせてメニューを変更することで、赤城を感じるができる食事になります。活動内容に合わせて屋外でも食事ができるよう、野外炊事用食材も販売します。

##### イ 食物アレルギーのあるお客様への対応について

アレルギーがあるお客様については、事前にヒアリングし、食材から調味料、使用器具、調理手順に至るまで、アレルギーの除去が徹底されるよう、細心の注意を払います。

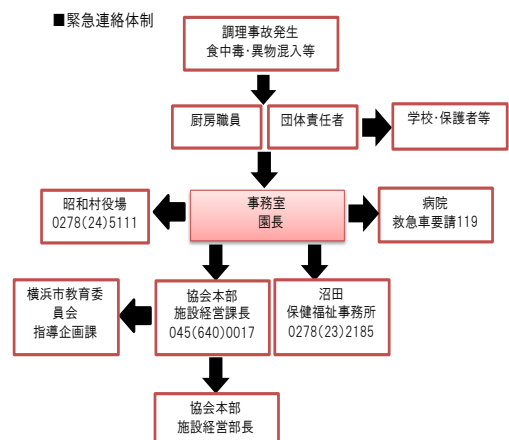
また、アレルギーをもつ児童へ手渡すまで内部で3回確認したのち、引率責任者により、児童へ手渡すこととします。

##### ウ 献立、成分の情報公開

給食や特別料理などの全メニューの原材料や成分表をインターネットで公開します。

##### エ 調理事故発生時の連絡体制

万が一の事故が発生した場合に備え、予め「緊急連絡体制」を整えておきます。事故発生があった場合は、調理や食事の現場から園長を通じて協会本部、横浜市教育委員会等の各関係機関に迅速に連絡をします。



## 4 施設・設備の維持管理

### (1) 施設・設備の点検

毎日の日常点検を確実にを行うほか、法定点検及び機能維持点検（自主的的点検）を信頼ある専門業者へ委託します。

#### ■職員による日常点検計画

業務名称	場所	内容	回数
日常点検	各所	仕上げ材の浮き、ひびわれ、はがれ、照明の不点灯、建物のぐらつき等不具合の発見	毎日
	ボイラー	作動状況・破損等の確認	作動時
	浴槽ろ過装置	作動状況・破損等の確認	作動時
	浴槽塩素注入機	作動状況・破損等の確認、浴槽水の残留塩素測定	実施時
	旧キャンプ場	倒木、落枝の確認	利用前



■専門業者による定期点検計画

種別	項目	内容	回数
法定点検	特定建築物衛生管理	建築物環境衛生管理技術者の選任、空気環境測定業務など	6回/年
法定点検	汚水処理装置	作動点検及び水質検査	18回/年
法定点検	井水・浴場ろ過装置	作動点検及び水質検査	2回/年
法定点検	ボイラー保守点検	ボイラーの定期点検	2回/年
法定点検	地下タンク保守点検	地下灯油タンク及び埋設配管の漏洩点検	1回/年
法定点検	自家用電気工作物点検	電気主任技術者による受電設備、分電盤等の点検	12回/年
法定点検	消防設備点検	屋内・外消火栓設備、自動火災報知設備、非常警報設備、非常用放送設備、避難器具、誘導灯、防ばい煙制御設備、ハロゲン化物消火設備 他	2回/年
法定点検	防火対象物定期点検	防火対象物点検資格者による防火管理状況の設備・火気設備器具の維持管理状況などの点検	1回/年
法定点検	ばい煙測定	ばいじん、窒素酸化物、硫黄酸化物測定	2回/年
自主点検	暖房機作動点検	作動点検	2回/年
自主点検	襲雷警報装置点検	作動点検	1回/年

(2) 日常清掃・定期清掃

利用後は職員が必ず最終点検、確認を行いながら清掃を行うほか、ガラス清掃や害虫駆除などを業者に委託して行い、快適で衛生的な環境を保持します。

■職員による日常清掃計画

業務名称	場所	清掃内容	回数
日常清掃	各所ゴミ箱	ごみ収集	利用後
	玄関・ロビー・廊下	床除塵	利用後
	ラウンジ・研修室	床除塵	利用後
	食堂	床除塵、整理整頓	利用後
	宿泊室	床除塵、整理整頓	利用後
	事務室	床除塵、整理整頓	毎日
	トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び衛生消耗品の補充	毎日
	浴室・脱衣所・洗い場・洗面所	除塵清掃及び定期的なごみ拾い、水切り後、ふき取る	利用後
	森の家	床除塵	利用後
	建物内外外構	ごみ拾い、落ち葉清掃及び定期的な吸殻清掃	利用後
	グラウンド・広場	ごみ拾い、落ち葉清掃及び定期的な吸殻清掃	利用後
	照明器具、コンセント	器具の除塵	適宜

■職員による定期清掃計画

業務名称	場所	内容	清掃内容	回数
定期清掃	トイレ	換気扇、便器、洗面台 他	除塵、便器、床タイル 磨き、衛生用具洗浄	2回/年
	浴室、脱衣場	排水溝、タイル、換気 扇、鏡、洗面台 他	除塵、清掃、衛生用 具洗浄	2回/年
	各宿泊室	暖房機フィルター	水洗いで埃を落とす	2回/年
	各所	照明器具	除塵、清掃	2回/年
	各所	手すり、天窓	除塵、清掃	2回/年
	宿泊室	押入れ、床、建具、換気 扇、網戸	除塵、水拭き清掃	1回/年
	食堂	食堂電気傘	電気傘の除塵	1回/年

■専門業者による定期清掃計画

	場所	内容	清掃内容	周期
定期清掃	宿泊棟	ワックス清掃	ワックスを使用した床清掃	5回/年
	森の家	ワックス清掃	ワックスを使用した床清掃	2回/年
	宿泊棟	ガラス清掃	窓ガラス清掃	4回/年
	雨天集会場	ガラス清掃	窓ガラス清掃	1回/年
	トイレ・浴室	清掃	床、便器、タイル、浴槽清掃	5回/年
	宿泊室	寝具クリーニング	専門業者による布団・毛布のクリー ニング	1回/年
	テント泊	寝袋クリーニング	専門業者による寝袋のクリーニング	1回/年
	宿泊室	害虫駆除	室内清掃、消毒剤噴霧	4回/年
	厨房	グリストラップ清掃	グリストラップ排水管の洗浄	1回/年

(3) 外構管理

敷地が広大な赤城では職員のほか、シルバー人材センターに委託します。

大雪が降った場合は、ホイールローダーを使って除雪を行います。

■外構・植栽管理計画

業務名称	内容	実施者	回数
外構・植栽管理	人力除草、中低木剪定、刈込	業者	140人工(4~8月)
	薬剤散布	業者	適宜
	排水溝清掃	職員	年3回(4・7・11月)
	除雪	職員	降雪時

(4) 宿泊時の維持管理

ア シーツクリーニング

宿泊時にはスリーピングシートを1人に1枚ずつ支給し、利用終了後に、クリーニングを行います。

## イ 寝具クリーニング

専門業者による寝具のクリーニングは年1回、布団の乾燥（天日干し）を適宜実施します。

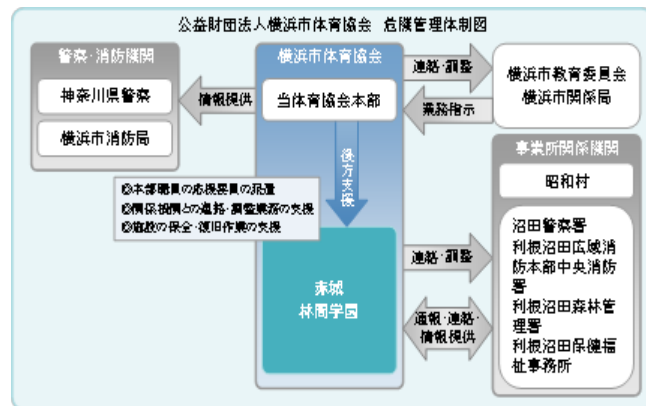
## (5) 地球温暖化対策

学園では、主体的に省エネルギー行動に取り組むとともに、子どもたちへも環境教育の一環として積極的にアピールをしていきます。

# 5 安全管理

## (1) 緊急・救急時の安全管理体制

事故などの緊急時に備え、協会全体で危機管理体制を確立するとともに、適切な緊急連絡網の整備により、情報共有をしながら迅速に対応します。



## (2) 地震対策

### ア 学園内での対応

学園内で地震が発生した場合は、非常放送を使い正面玄関へ誘導します。けが人がいる場合は、救急車を要請するなどの対応をします。

## イ 関係者への連絡

地震が発生した場合は、学園当直職員から所属団体の緊急時連絡先・関係者に速やかに連絡し、学園での状況を説明します。避難状況等についても順次、指導職員やスタッフから学園に報告させ、適宜関係者に連絡をし、安心感を得られるようにします。

## (3) 荒天の対策

気象状況により荒天が予想される場合は、早めの利用・実施の可否判断をします。また、交通機関の運休や、道路の通行止めなどが発生した場合は、学園にしばらく留まり復旧まで滞在するよう勧めます。その間の食事や宿泊については最優先で対応します。

## (4) 負傷者及び急病人の対応

### ア 迅速な応急・救命手当と病院への搬送

活動中などに負傷者や急病人が発生した場合は、利用団体の引率者がまず応急手当と救命手当を行うことを原則とし、職員へ連絡をしてもらいます。連絡を受けた職員は、状況に応じ、救急車の要請または学園車両で病院へ搬送します。

職員が事故発生現場にいた場合は、引率者と協力して直ちに応急手当と救命手当を行います。

## イ 職員の24時間対応

宿泊利用のお客様において夜間に負傷や急病が発生した場合は、宿直職員が応急対応します。

## ウ 医療機関との連絡体制・搬送体制

医療機関へ搬送する必要がある傷病者が発生した場合に備え、24時間体制で診察が受けられる昭和村及び沼田市を中心とした近隣の医療機関との連絡体制を整えます。

## (5) 非常食等の備蓄

災害が発生した後事態に備え、宿泊定員の400人分の米や乾パン、飲料水などの非常食や、非常用備品を予め備蓄します。

## (6) 閉園後及び休園日の対応

宿泊利用のない日は警備会社に機械警備を委託します。異常の場合、警備会社の警備員が現場に急行するとともに、消防署、警察署に通報します。

また、警備会社から園長又は、その他の職員に緊急連絡し、その後の対応を引き継ぎ、安全管理に空白のない体制をとります。

## (7) 補償体制

建物や建築物などの設備構造上の欠陥あるいは管理上の不備等により、利用者に身体的傷害や財物損壊を与えた場合、給食や食材が原因の事故への備えとして施設賠償責任保険をはじめとする各種の保険に加入します。

また、自主事業への参加者やスタッフのケガをした際の補償をするため、普通傷害保険に加入します。

### ■保険明細

保険種類	保険内容	賠償限度額
施設賠償責任保険 旅館賠償責任保険	施設側の瑕疵により、利用者に対する身体及び物品等に損害が発生した場合の賠償保険	対人:1人につき1億円 1事故につき1億円 期間中1億円 対物:1事故につき1億円 期間中1億円
生産物賠償責任保険	施設で調理する給食や販売する食材など、提供する生産物の瑕疵により、利用者に対する身体及び物品等に損害が発生した場合の賠償保険	対人:1人につき1億円 1事故につき1億円 期間中1億円 対物:1事故につき1億円 期間中1億円
普通傷害保険	スタッフが活動中にけがをした場合に対応する傷害保険	
スポーツ・レクリエーション保険	日帰りで行う野外活動教室の事前説明会で参加者がけがをした場合に対応する傷害保険	死亡・後遺障害:1人につき350万円 入院保険金:1人1日4,500円 通院保険金:1人1日3,000円
国内旅行傷害保険	宿泊の野外活動教室で参加者がけがをした場合に対応する傷害保険	

## 6 地域との協力・連携

---

### (1) 教育施設協力町村受入事業(来浜事業)の実施

昭和村の小学校 6 年生全員を横浜へ招待し、施設見学等を通じて横浜への理解を深めていただきます。

### (2) 地元利用の受入

横浜市の学校や青少年団体の利用がない日には、地元の小学校などから利用を受け入れます。

### (3) 町内イベントへの出展

村が主催する「昭和の秋祭り」に出展し、昭和村民へ学園の事業や協会が行うイベントなどを紹介します。

## 7 モニタリング

---

PDCA マネジメントサイクルに則り、計画から実践、評価、そして改善というプロセスを経て、さらに次の計画に反映させることにより、業務水準の向上につなげます。

### (1) 利用者アンケート

利用のたびに記入していただいたアンケートを、四半期毎に集計・分析します。

### (2) 事業評価会の実施

四半期毎に本部職員と事業評価会を実施し、収支状況や利用状況を分析し、今後の施設運営方法を改善していきます。

## 8 管理運営経費

---

### (1) 利用にかかる料金の収入計画

#### ア 給食費収入

給食費の提供価格は、安定した質の維持とお客様のニーズに対応したメニュー作りが可能である適正な料金設定をします。収入額は、過去 3 年間の実績に基づいた 1 人当たりの食数に目標の実利用者数を乗じた食数を基に算出しています。

#### イ プログラムにかかる材料費収入

平成 24 年度実績による実利用者 1 人当りの単価 68 円に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### ウ シーツ洗濯代収入

寝具に使用するシーツは、基本的に宿泊者全員が利用期間中に 1 枚利用します。このため、収入額は、料金に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### エ 薪代等収入

薪や丸太などの使用量は、団体のプログラムや人数によって決まります。このため、収入額は、過去 3 年間の実績による実利用者 1 人当たりの単価に目標の実

利用者数を乗じて算出しています。

## オ 光熱水費の実費収入

市民の一般利用は、閑散期のフリープランなどを積極的に展開します。

また、市外利用者数は、学校・団体等の市民利用者がいない場合のみ利用できるため、現状程度と予測しています。

## (2) 自主事業の収入計画

### ア 教室事業収入

教室事業については、募集人数に過去の実績を基礎とした参加率を乗じ算出しています。広報・PR活動を積極的に行うことで参加率をあげていきます。

### イ 飲食事業収入

特別料理や飲料等の料金は品目によって異なり販売数量も一定ではありません。このため、収入額は、過去3年間の実績による実利用者1人当りの単価に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

### ウ 物販事業収入

過去3年間の実績による実利用者1人当りの単価に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

### エ その他事業収入

#### (ア) レンタル収入

野外活動等に必要用具を貸し出すレンタル事業の収入は、過去3年間の実績による実利用者1人当りの単価に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

また、新規レンタル品の収入見込みも加えています。

#### (イ) 利用促進イベント

家族・グループ等を対象とした「赤城フリープラン」や中学・高校の部活動などを対象とした「合宿プラン」については、学校等の団体利用が少ない時期や春休み中に実施するなど、積極的な利用促進を図ります。収入金額は、教室事業と同様の考え方から、想定収入額に参加率を乗じた金額を収入金額として見込んでいます。

## (3) 無駄を削ぎ落とした支出計画

### ア 施設運営支出

施設運営支出は管理運営実績と経験を生かし、すべての経費を見直しました。  
(別紙 収支予算書参照)

### イ 管理運営について

管理運営業務については、当体育協会職員による直接運営を基本とします。

ただし、高度の専門性を要する業務や期間限定作業等の業務については実績と能力が高い専門業者に委託します。



## (2) 飲食事業

(税込)

内 容		料 金	単 位	提供方法
特別料理	赤城御膳	2,000円	1人分	予約販売、夕食時の追加料理 (4名以上で申込み)
	きのこ鍋	2,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
	焼き魚(岩魚・山女・虹鱈)	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	天ぷら盛り合わせ(季節の山菜)	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	おでん盛り合わせ	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	こんにゃく田楽	310円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	さしみこんにゃく	210円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	もち豚トンカツ	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	ぼたん鍋	3,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
	鴨鍋	3,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
豆乳鍋	3,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理	
飲料・その他	500mlペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	150円	1本	予約販売
	紙パック飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	2ℓペットボトル	360円	1本	予約販売
	夜食セットA (菓子パン+飲み物)	260円	1セット	予約販売
	夜食セットB (おにぎり+飲み物)	260円	1セット	予約販売
	夜食セットC (菓子パン+飲み物+果物)	360円	1セット	予約販売
	夜食セットD (おにぎり+飲み物+果物)	360円	1セット	予約販売
野外炊事食材	カレーセット	570円	1人分	予約販売、野外炊事用
	焼きそばセット	510円	1人分	予約販売、野外炊事用
	トン汁セット	510円	1人分	予約販売、野外炊事用
	だんご汁セット	510円	1人分	予約販売、野外炊事用
	バーベキューセット(A)	720円	1人分	予約販売、野外炊事用
	ディナーカレーセット	720円	1人分	予約販売、野外炊事用
	野菜サラダセット	210円	1人分	予約販売、野外炊事用
	バーベキューセット(B)	1,540円	1人分	予約販売、野外炊事用



## (3)物販事業

(税込)

内 容		料 金	単 位	提供方法
生活用品	軍手	40円	1双	事務所販売
	タオル	100円	1枚	事務所販売
	歯ブラシセット	50円	1本	事務所販売
	シャンプーリンスセット(小)	360円	1個	事務所販売
	チャッカマン(簡易ライター)	120円	1箱	事務所販売
	食品ラップ	140円	1個	事務所販売
	アルミホイル	110円	1個	事務所販売
	食品保存袋(大)	25円	1枚	事務所販売
	食品保存袋(中)	20円	1枚	事務所販売
	乾電池 単1 2個パック	220円	1パック	事務所販売
	食器洗い洗剤	240円	1本	事務所販売
	クレンザー	250円	1本	事務所販売
	木炭 3kg	420円	1箱	事務所販売
	着火剤	420円	1本	事務所販売
	洗濯洗剤	150円	1袋	事務所販売
	ごみ袋 45L 10枚入り	140円	1袋	事務所販売
	ごみ袋 45L 1枚	20円	1枚	事務所販売
	ビニール袋 (100枚入)	720円	1袋	事務所販売
	ビニール袋 10枚	70円	1袋	事務所販売
	千年の水(昭和村産)	130円	1本	事務所販売
氷(ロック)	310円	1袋	事務所販売	
自動販売機(屋内設置1台)	130~160円	1本	4~10月(7ヶ月)稼動	

## (4)レンタル事業

(税込)

内 容	料 金	単 位	提供方法
そり	210円	半日	
かんじき	210円	半日	
バーベキューコンロ	510円	半日	
ノルディックポール	310円	半日	
ディスクゴルフ	310円	1回	日帰り利用者
ディスクゴルフ	210円	1回	宿泊利用者
ディスクゴルフ	100円	1回	学校利用
コピー(白黒)	20円	1枚	
コピー(カラー)	100円	1枚	
熱風オイルヒーター	510円	1時間	
公衆電話	10円~	1回	
コイン式洗濯機	300円	1回	春休み/夏休み
リーダー室利用料	1,000円	1泊	家族/グループ利用時

## (5) 利用促進イベント事業

(税込)

日 程	料 金	内 容
河岸段丘マラソン大会(仮) 5月23日(土)～24日(日)	1泊2日 中学生以上 3,600円 小学生 3,400円	食事代(朝1回、夕1回)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き
センチュリーライド宿泊パック 8月29日(土)～30日(日)	1泊2日 中学生以上 3,600円 小学生 3,400円	食事代(朝1回、夕1回)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き
年末年始のゆるリズムプラン  平成27年12月26日(土)～ 平成28年1月6日(水)のうち 1泊2日もしくは2泊3日の利用	1泊2日 中学生以上 4,500円 小学生 4,400円 3歳～未就学児 4,300円 0歳～3歳未満 700円	食事代(朝1回・夕1回)、シーツ代、 光熱水費 ※夕食時には特別料理が付きます。 ※横浜巾仕仕・仕勤の家族、ソルレーノ対 象
	2泊3日 中学生以上 8,700円 小学生 8,500円 3歳～未就学児 8,300円 0歳～3歳未満 1,000円	食事代(朝2回、夕2回)、シーツ代、 光熱水費 ※夕食時には特別料理が付きます。 ※横浜巾仕仕・仕勤の家族、ソルレーノ対 象
フリープラン  平成27年11月14日(土)～ 平成28年3月13日(日)の毎週 末	光熱水費(横浜市内)1人1泊 510円 光熱水費(横浜市外)1人1泊 820円 リーダー室使用料1泊1部屋 1,000円	家族・グループ対象  ※リーダー室:2部屋(定員5名) トイレ、冷蔵庫、テレビ付き

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家赤城林間学園

### 収支予算書

#### 1 指定管理・収入の部(平成 27 年度)

(1)収入 ※指定管理経費を除く。

	内 訳	合計金額 (円、税込)	
利用にかかる料金収入 (A)		44,223,080	
項 目	給食収入	給食収入	32,028,480
	材料等収入	クラフト代等収入	766,800
	シーツ代収入	シーツ利用収入	4,067,280
	薪代収入	野外炊事用薪代、キャンプファイアー用薪、丸太代等	672,840
	光熱水費収入	利用者光熱水費実費負担収入	4,550,040
	自主事業還元収入		2,137,640

(2)指定管理料を含めた収入合計

	内 訳	合計金額 (円、税込)
利用にかかる料金収入 (A)		44,223,080
指定管理料 (B)		79,222,000
収入合計 (A)+(B)		123,445,080

団体名: 公益財団法人横浜市体育協会

施設名: 横浜市少年自然の家赤城林間学園

## 収支予算書

### 2 指定管理・支出の部(平成 27 年度)

		積算内訳	合計金額 (円、税込)
① 維持管理運営費用			123,445,080
項 目	人件費	給料(園長1人) 給料(副園長1人) 常勤職員4人 退職給付 賃金(アルバイト)	37,253,000
	修繕費	小破修繕	2,350,080
	設備管理費	消防設備点検、自家用電気工作物保安管理、ボイラー保守点検、井水ろ過装置保守点検 他	3,704,400
	保安警備費	機械警備	192,240
	備品購入費	厨房用品、事務用品等	270,000
	消耗品費	事務用品、施設管理用品等	1,765,800
	外構・植栽管理費	外構・園内植栽管理	820,800
	廃棄物処理費	一般廃棄物、生ゴミ収集処理	720,360
	広報費	広報宣伝、記事掲載	216,000
	印刷製本費	リーフレット、ちらし印刷	108,000
	光熱水費	電気、ガス	9,936,000
	燃料費	灯油等	6,156,000
	保険料	施設賠償保険等	300,000
	使用料・賃借料	職員シーツ代、コピー機リース、AEDレンタル、NHK受信料	756,000
	委託料	給食調理等運営業務、定期清掃業務 他	18,378,360
	報償費	夏期運営スタッフ謝金	43,200
	公租公課費	契約用印紙、自動車税 他	100,000
	旅費交通費	職員・スタッフ旅費交通費	432,000
	通信運搬費	電話、郵送、	572,400
	支払手数料	毛布クリーニング等	1,998,000
	会費及び負担金	簡易水道協会会費等	108,000
	給食原材料費	給食原材料費	27,011,880
	プログラム材料費	プログラム材料	460,080
	シーツ代	シーツリース	3,252,960
	薪代	薪代	504,360
	食糧費	ボランティアスタッフ食事代	10,800
間接事務費	事務局管理経費	2,789,000	
租税公課費	仮受消費税と仮払消費税の差額	3,235,360	

収支予算書

3 自主事業・収入の部(平成 27 年度)

		内 訳	合計金額 (円、税込)
② 自主事業による収入			8,499,920
項 目	教室事業	教室参加料収入	4,217,400
	飲食事業	特別料理、野外炊事用食材等販売収入	2,926,800
	物販事業	自販機収入、物品販売等収入	559,440
	その他事業	公衆電話、レンタル事業、フリープラン等参加料収入	796,280

収支予算書

4 自主事業・支出の部(平成 27 年度)

		内 訳	合計金額 (円、税込)
② 自主事業による経費			8,499,920
項 目	教室事業	教室運営にかかる経費	3,107,160
	飲食事業	食材・飲料販売にかかる経費	2,386,800
	物販事業	物品販売にかかる経費	437,400
	その他事業	物品レンタル、公衆電話にかかる経費 利用促進イベントなどでの給食やプログラム材料費など	430,920
	指定管理事業還元支出	自主事業収支差額	2,137,640

# 横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園

## 平成27年度 事業計画書

指定管理者

公益財団法人横浜市体育協会

## 1 基本的な考え方

南伊豆臨海学園の位置づけ、関連行政施策、重点課題等を踏まえ、次のとおり5つの基本方針、さらに15のアクション（実施策）を定め、指定管理事業に取り組みます。

### (1) 運営方針に基づく15のアクション

基本方針1 野外活動・自然観察の拠点として価値の高い施設にします
アクション(実施策) ①「総合的な学習」をサポート ②南伊豆ならではの自然体験活動等を提供 ③市民ボランティアとの協働
基本方針2 安全・安心な施設にします
アクション(実施策) ④安全管理体制の強化 ⑤ユニバーサルサービスの充実 ⑥ライフサイクルコストの縮減
基本方針3 大規模グループからファミリーまで一年を通じて満足いただける施設にします
アクション(実施策) ⑦ネットワークを駆使し効率的なPR活動を実施 ⑧職員の資質向上と資格認証等の取得
基本方針4 地域に根ざした施設にします
アクション(実施策) ⑨地元人材の活用と地元経済への貢献 ⑩横浜市と南伊豆町との友好関係をサポート
基本方針5 SR(社会的責任)活動を実践します
アクション(実施策) ⑪モニタリングの仕組みの整備 ⑫コンプライアンス活動の徹底 ⑬PDCA サイクルによるマネジメントの推進 ⑭環境に配慮した施設管理 ⑮環境行動を促す事業の実施

### (2) 平成27年度の方針と年度達成目標

年度方針	主な取組	年度達成目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>●初年度事業の採算性等を反映した効率的な経営への改善</li> <li>●自主事業(教室事業)参加率の前年度比アップ</li> <li>●周辺施設の利用による学園利用の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校利用増、教室参加者増に向けた営業活動強化</li> <li>◆三浜小学校跡地(体育館)の利用を絡めた学園の利用促進</li> <li>◆部活動や個人利用プランの推進</li> </ul>	実利用者 5,707人 (平成24年度実績の5.8%増)



## 2 職員配置・運営体制

南伊豆臨海学園の管理運営にあたり、必要最小限の職員体制で、安全かつ効率的な管理運営体制を構築します。

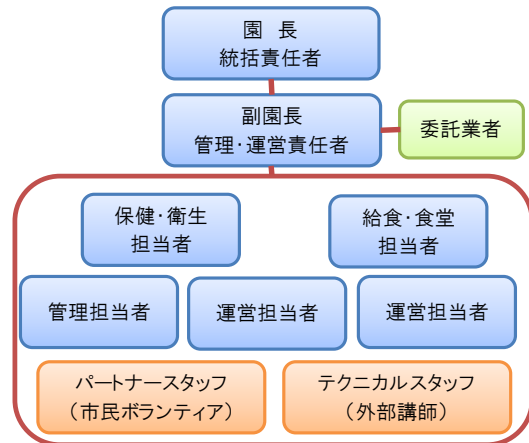
### (1)管理運営体制

#### ア 職員の配置

園長、副園長、保健・衛生担当者、給食・食堂担当者、管理担当者が各1名、運営担当者2名の計7名を配置します。

7名は、地元住民を採用して配置し、緊急時にはいつでも施設へ駆けつけることが可能な体制とします。

■南伊豆臨海学園の管理運営体制



#### イ 補助スタッフの配置

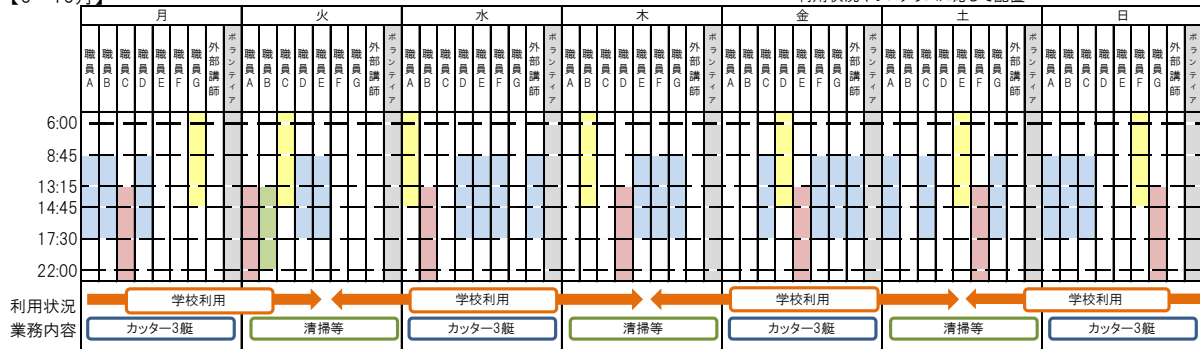
繁忙期には野外活動指導や施設内の清掃などを行うパートナースタッフとして、支援ボランティアを配置します。

また、カッターやシーカヤックなどの指導に際に、職員だけでは十分な人員が確保できない場合、専門的な技術を持つ地域人材をテクニカルスタッフとして配置します。

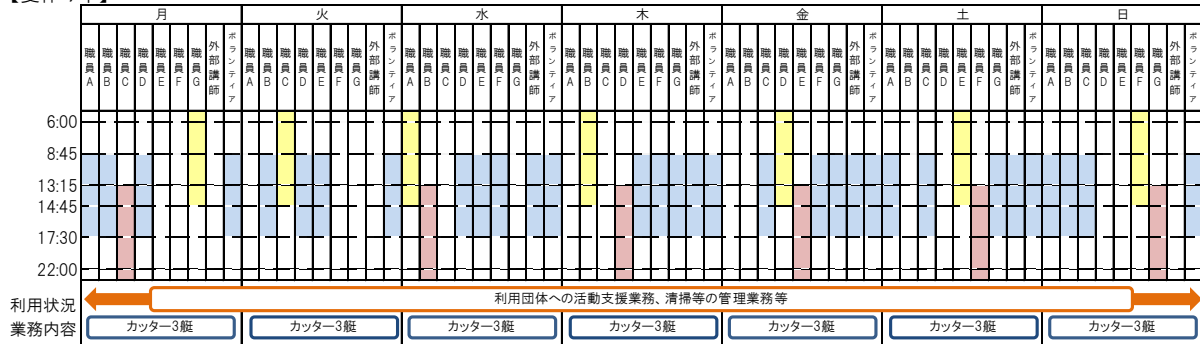
#### ウ 勤務ローテーション

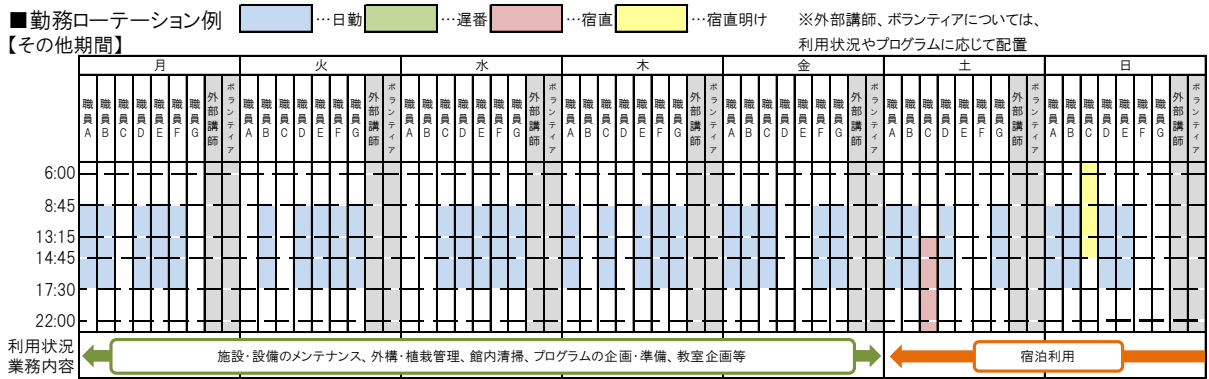
利用団体の活動状況にあわせて通常、遅番、宿直勤務、休日などを組み合わせ、効率的に編成します。

■勤務ローテーション例 (5~10月) ■…日勤 ■…遅番 ■…宿直 ■…宿直明け ※外部講師、ボランティアについては、利用状況やプログラムに応じて配置



【夏休み中】





## エ 業務委託

消防設備点検や温水ボイラーなど専門的な知識や技術を必要とする業務は実績と能力が高い専門業者に委託します。また、給食の調理業務については、「南伊豆臨海学園運営協力会」に委託します。

### ■業務委託予定一覧

業務内容	委託先予定	
污水处理施設保守点検	株式会社西原ネオ	静岡営業所
自家用電気工作物保守点検	関東電気保安協会	下田支所
機械設備保守点検	アートウォーター	伊東市
消防設備点検	株式会社藤興産	下田支社
機械警備	セコム株式会社	下田営業所
給食調理等運営	南伊豆臨海学園運営協力会	南伊豆町
高窓閉閉装置保守点検	オイレスECO株式会社	横浜営業所
厨房衛生害虫駆除	ネオクリーンサービス	南伊豆町
窓ガラス・網戸清掃	ネオクリーンサービス	南伊豆町
カッター吊り下ろし	(有)荻原工業	南伊豆町

## (2) 職員研修

研修計画に則り、協会本部や園長が中心となって職場内研修や外部研修を実施し、人材の育成を図ります。

### ■平成27年度職員研修計画

内容
マネジメント研修
危機管理・リスクマネジメント研修
経理事務研修
施設管理・設備等技術研修
ビジネスマナー・接客研修
個人情報保護研修
コンプライアンス研修
人権研修
上級・普通救急救命講習
ネイチャーゲーム体験会
自然観察指導員
キャンプインストラクター、キャンプディレクター2級

### 3 施設の効用の最大限発揮

#### (1) 広報計画

教室や事業ごとに各種広報媒体を活用し、計画的な広報を行います。

##### ■主な広報手段

活字メディア	ネット	その他
広報よこはま	Facebook	学校ポストの利用
ハマふれんど	ハマスポ.com	青少年団体への周知

#### (2) 利用促進

##### ア 学校への訪問活動

横浜市内小学校による体験学習利用の回復のため、かつて南伊豆臨海学園を利用していた学校をはじめ、学園を利用したことのない学校を、直接訪問し体験学習利用をはたらきかけます。

##### イ 市内小学校教員限定の「体験会」を開催

学園を利用したことのない市内小学校の教員に限定した1泊2日の「体験会」を開催します。(ひとりにつき5000円/1泊2日・横浜⇄南伊豆・送迎費用込)

##### ウ 個人利用プランの実施

学校や青少年団体の利用が少ない閑散期の毎週金土日には、1人から宿泊できるようにします。

##### エ 利用日の拡大

12月28日から1月4日まで開館します。

##### オ 自主事業(教室事業)の展開による利用促進

5月のゴールデンウィークや夏休みに自主事業を開催し、利用促進をします。  
別添「自主事業」参照

##### カ イベントの誘致

閑散期には自転車やトライアスロンなど南伊豆の自然を活かしたイベントを誘致し学園の利用促進を図ります。

#### (3) 利用者への支援策

##### ア 利用団体への支援

学園を安全で快適に利用していただくための支援は、①電話等での利用相談  
②来園による下見や事前打ち合わせ ③当日の最終打合せの3段階で行います。

##### イ 南伊豆の環境と資源を活かした豊富なプログラム提供

南伊豆臨海学園を訪れたすべてのお客様が楽しく、そして安全に体験できる多種多様な自然体験プログラムを提供します。

## (ア) 海の活動

プログラム名	季節	場所	対象	内容
カッター訓練	4月～10月	妻良湾	小学生～	湾内で漕ぐ練習をし、岩場や外洋を航行
シーカヤック	4月～11月	妻良湾	小学生～	湾内で漕ぐ練習をし、岩場や洞窟を通過する
シュノーケリング	6月～9月	妻良湾	小学生～	岩場でライフジャケットを着用しながら海中を観察
海水浴	6月～9月	子浦海岸	小学生～	浜から30mの区域で泳ぐ(ライフジャケットを着用)
砂浜レクリエーション	4月～10月	子浦海岸	小学生～	浜でビーチバレー、ビーチフラッグ、綱引きなど
ビーチコーミング	通年	子浦海岸	小学生～	湾内の漂流物を使った創作活動(環境教育)
磯遊び	4月～10月	子浦海岸	小学生～	カッターで岩場の上陸し、磯遊びを楽しみながら生物観察
魚釣り	4月～10月	子浦港	小学生～	湾内の波止場でアジ・いわしの回遊魚釣り

## (イ) 山の活動

プログラム名	季節	場所	対象	内容
ハイキング	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺のハイキングコースを歩きながら自然観察
ポイントラリー	通年	学園周辺	小学生～	コマ図の指示に従い課題を解決する集団ゲーム
ウォークラリー	通年	学園周辺	小学生～	図の指示に従い問題を解いていく集団ゲーム
刑事コロンダ事件簿	通年	学園周辺	小学生～	写真をヒントに課題を解決する集団ゲーム
五社めぐり	通年	学園周辺	小学生～	図の指示に従い課題を解決する集団ゲーム
ナイトウォーク	通年	学園周辺	小学生～	照明の届かない森を歩き、静けさを体感する夜の活動

## (ウ) 自然観察・環境学習

プログラム名	季節	場所	対象	内容
自然観察会	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺を散歩しながら植物を観察
ネイチャーハイキング	通年	学園周辺	幼児～	ハイキングコースを歩き植物観察や野鳥観察する
ネイチャーゲーム	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺をゲームしながら植物の観察
チャレンジ日和山	通年	学園周辺	幼児～	日和山の展望広場で一句、くもの巣づくり、サウンドマップ
磯の生物観察	5月～10月	子浦海岸	小学生～	磯を散策しながら海岸の生物などを観察
海の観察(カッター等利用)	5月～10月	妻良湾	小学生～	カッターから地層や海の様子、磯を観察
子浦今昔ぶらりんこ	通年	学園周辺	小学生～	50問の子浦の自然についての問題を解く集団ゲーム
星空観察	通年	学園周辺	小学生～	ナイトハイキングをしながら星空を観察
蛍観察	6月・7月	五十鈴川周辺	小学生～	学園周辺を散歩しながら双眼鏡で野鳥を観察
植物観察	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺を散歩しながら植物を観察
海ほたる観察	7月・8月	子浦海岸	小学生～	浜辺を散歩しながら夜光虫を観察
昆虫観察	7月・8月	学園周辺	小学生～	屋に昆虫採集の仕掛けを設置し、夜に集まる昆虫を観察

## (オ) 園内活動

プログラム名	季節	場所	対象	内容
飯ごう炊飯	通年	野外炊事場	小学生～	班活動でカレーやシチュー、ご飯を作る
バーベキュー	通年	園敷地内	小学生～	炭火で地元の新鮮な魚介類を焼く海鮮バーベキュー
餅つき	通年	園敷地内	小学生～	もち米を蒸かして、うす・杵でつく伝統行事
うどん打ち	通年	園敷地内	小学生～	うどん粉をこねて作る手打ちうどん
そば打ち	通年	園敷地内	小学生～	そば粉をこねて作る手打ちそば
小麦饅頭づくり	通年	園敷地内	小学生～	小麦粉をこねて作る手作り饅頭
アジの干物づくり	通年	園敷地内	小学生～	生のアジをさばいて作る干物づくり(250円/2枚)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
キャンプファイヤー	通年	学園敷地内	小学生～	丸太の井桁を組み、炎を囲んでゲーム・ソング・ダンスを楽しむ
キャンドルファイヤー	通年	学園敷地内	小学生～	蜀台の炎を囲んでゲーム・ソング・ダンスを楽しむ
たわしゴルフ	通年	学園内	小学生～	館内で12ホール設置のたわしボールのゴルフ
館内ラリー	通年	学園内	小学生～	館内を指示書に従い問題を解きながらゴールする屋内ゲーム
館内暗闇ラリー	通年	学園内	小学生～	館内の廊下や宿泊室などを利用した肝試し
漁業の話	通年	学園内	小学生～	学園職員や地元漁師による講話

## ウ 自主事業による支援策

海浜活動やハイキングなどの活動内容に対応できるよう、お茶やスポーツドリンク、ジュースなどを販売し、要望があれば冷やしたものを浜まで届けるサービスをします。

## エ 生活用品の販売や自動販売機の設置

近隣に商店がないことから、学園で必要となる生活用品等を販売するほか、学園内に清涼飲料水の自動販売機を設置します。

## (4) 食事提供

### ア 食事の提供計画

一部食材において、地元の新鮮な食材を使い、季節に合わせてメニューを変更することで、南伊豆を感じることができる食事にします。活動内容に合わせて屋外でも食事ができるよう、お弁当も用意します。

### イ 食物アレルギーのあるお客様への対応について

アレルギーがあるお客様については、事前にヒアリングし、食材から調味料、使用器具、調理手順に至るまで、アレルギーの除去が徹底されるよう、細心の注意を払います。

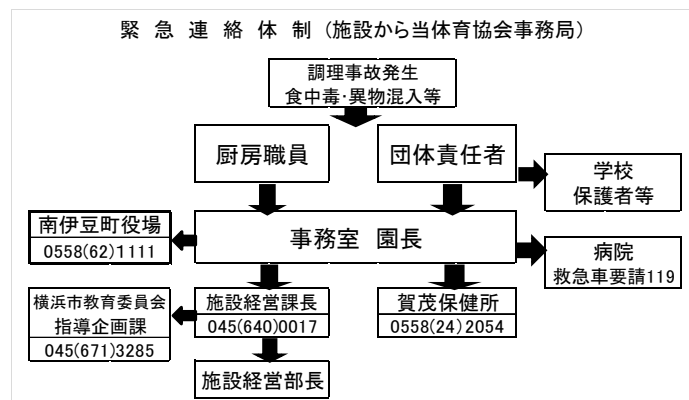
また、アレルギーをもつ児童へ手渡すまで内部で3回確認したのち、引率責任者により、児童へ手渡すこととします。

## ウ 献立、成分の情報公開

給食や特別料理などの全メニューの原材料や成分表をインターネットで公開します。

## エ 調理事故発生時の連絡体制

万が一の事故が発生した場合に備え、予め「緊急連絡体制」を整えておきます。事故発生があった場合は、調理や食事の現場から園長を通じて協会本部、横浜市教育委員会等の各関係機関に迅速に連絡をします。



## 4 施設・設備の維持管理

### (1) 施設・設備の点検

毎日の日常点検を確実にを行うほか、法定点検及び機能維持点検（自主的点検）を信頼ある専門業者へ委託します。

#### ■職員による日常点検計画

業務名称	場所	内容	周期
日常点検	各所	仕上げ材等の浮き、ひび割れ、はがれや、照明の不点灯、建具のぐらつき等、不具合の発見	毎日
	ボイラー	作動状況、破損等の確認	作動時
	浴槽ろ過機	作動状況、破損等の確認	作動時
	塩素注入機	作動状況、破損等の確認	作動時
	水道中継タンク	作動状況、破損等の確認	年4回

#### ■専門業者による定期点検計画

	項目	内容	回数
法定点検	消防設備保守点検	屋内・外消火栓設備、自動火災報知設備、非常警報設備、非常用放送設備、避難器具、誘導灯、他	2回/年
法定点検	危険物貯蔵所点検	地下灯油タンクの点検	1回/年
法定点検	自家用電気工作物点検	電気主任技術者による受電設備、分電盤等の点検	12回/年
法定点検	汚水処理施設保守点検	汚水処理装置の点検	48回/年
法定点検	機械設備保守点検	給水設備、ボイラーの作動点検	1回/年
自主点検	高窓開閉装置保守点検	排煙窓の作動点検	1回/年

### (2) 日常清掃・定期清掃

利用後は職員が必ず最終点検、確認を行いながら清掃を行うほか、ガラス清掃や害虫駆除などを業者に委託した行き、快適で衛生的な環境を保持します。

#### ■職員による日常清掃計画

業務名称	場所	内容	周期
日常清掃	各所ゴミ箱	ごみ収集	利用後
	ロビー・廊下	床除塵	利用後
	ラウンジ・研修室	床除塵	利用後
	食堂	床除塵、整理整頓	利用後
	宿泊室	床除塵、整理整頓	利用後
	事務室	床除塵、整理整頓	毎日
	トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び衛生消耗品の補充	毎日
	子浦港トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び衛生消耗品の補充	週1回(夏期) 月1回(夏期以外)
	シャワー室	砂落とし	利用後
	浴室・脱衣所・洗い場・洗面所	除塵清掃及びごみ拾い、水切り後ふき取る	利用後
	建物内外外構	ごみ拾い(吸い殻なども含む)、落ち葉清掃	利用後
	キャンプファイア場	ごみ拾い(吸い殻なども含む)、落ち葉清掃	利用後

#### ■職員による定期清掃計画

業務名称	場所	項目	内容	回数
定期清掃	トイレ、風呂他	換気扇・ガラリ清掃	付着した埃等を除去し適正な換気能力を維持する	2回/年
	各所	照明器具清掃	各所にある照明器具の清掃する	2回/年
	廊下・玄関・食堂	床ワックス	保護剤を塗布してワックスを塗装する	2回/年
	ラウンジ・研修室・医務室・事務室	床ワックス	保護剤を塗布してワックスを塗装する	2回/年
	ガラス壁・外壁	高圧洗浄	高圧洗浄機を使用した洗浄する	1回/年
	食堂電気傘・高所埃除去	除塵・清掃	洗剤にて汚れを落とし、水切りをして拭き取る	2回/年

■専門業者による定期清掃計画

業務名称	場所	項目	内容
定期清掃	厨房設備	鼠・害虫駆除	忌避剤を散布
	各所	ガラス・網戸清掃	専門の清掃業者による清掃
	宿泊室	エアコン清掃	専門の清掃業者による清掃

(3) 外構管理

外構管理は職員が中心となって行います。

■外構・植栽管理計画

業務名称	内容	実施者	回数
外構・植栽管理	除草・中低木剪定	職員	4回/年 (4・6・8・11月)
	排水溝清掃	職員	4回/年 (4・6・8・11月)
	落ち葉清掃	職員	適宜
	高木剪定	業者	適宜

(4) 宿泊時の維持管理

ア シーツクリーニング

宿泊時にはスリーピングシートと枕カバーを1人に1枚ずつ支給し、利用終了後に、クリーニングを行います。

イ 寝具クリーニング

専門業者による毛布のクリーニングは年2回、布団の乾燥を年1回実施します。

(5) 地球温暖化対策

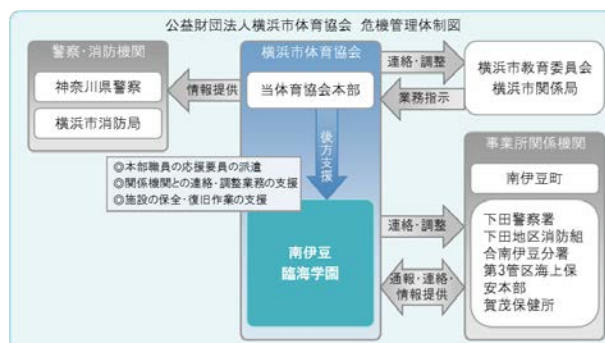
学園では、主体的に省エネルギー行動に取り組むとともに、子どもたちへも環境教育の一環として積極的にアピールをしていきます。

省エネルギー行動の取組(例)
○ 空調機の設定温度の適正化
○ ボイラー給湯機の設定温度の適正化
○ 蛇口の節水コマの導入、節水シール添付による節水の呼びかけ
○ 事務機器の省エネモードの使用
○ 電気機器等の更新・購入時の省エネタイプの購入
○ 裏紙の使用による用紙購入量の縮減

5 安全管理

(1) 緊急・救急時の安全管理体制

事故などの緊急時に備え、協会全体で危機管理体制を確立するとともに、適切な緊急連絡網の整備により、情報共有をしながら迅速に対応します。



## (2) 地震・津波対策

### ア 学園内での対応

海のプログラム実施中は、学園施設内に必ず職員 1 名を当直させ、連絡が取れるようにします。

### イ 「海のプログラム」指導中の職員・スタッフの対応

職員・スタッフは、学園からの地震発生連絡などにより地震発生情報を確認次第、すぐに指定する避難用上陸ポイント(4か所を設定)に誘導します。

### ウ 関係者への連絡

地震が発生した場合は、学園当直職員から所属団体の緊急時連絡先・関係者に速やかに連絡し、学園での状況を説明します。避難状況等についても順次、指導職員やスタッフから学園に報告させ、適宜関係者に連絡をし、安心感を得られるようにします。

### エ 学園での活動中や生活中に地震が発生した場合の対応

学園で地震が発生した場合は、非常用放送を通じて、ゆれが収まるまで安全な場所で身体をかがめるなど、自身を守るように指示をします。ゆれが収まったら、学園職員の号令により、学園内の避難場所である中庭に集合させます。

## (3) 荒天の対策

気象状況により、荒天が予想される場合は、早めの利用・実施の可否判断をします。また、交通機関の運休や、道路の通行止めなどが発生した場合は、学園にしばらく留まり復旧まで滞在するよう勧めます。その間の食事や宿泊については最優先で対応します。

## (4) 負傷者及び急病人の対応

### ア 迅速な応急・救命手当と病院への搬送

活動中などに負傷者や急病人が発生した場合は、利用団体の引率者がまず応急手当と救命手当を行うことを原則とし、職員へ連絡をしてもらいます。連絡を受けた職員は、状況に応じ、救急車の要請または学園車両で病院へ搬送します。

職員が事故発生現場にいた場合は、引率者と協力して直ちに応急手当と救命手当を行います。

### イ 職員の 24 時間対応

宿泊利用のお客様において夜間に負傷や急病が発生した場合は、宿直職員が応急対応します。

### ウ 医療機関との連絡体制・搬送体制

医療機関へ搬送する必要がある傷病者が発生した場合に備え、24 時間体制で診察が受けられる南伊豆町を中心とした近隣の医療機関との連絡体制を整えます。

## (5) 事故防止のための方策

### ア ライフジャケットの着用

全員にライフジャケットの着用を徹底し水難事故を防止します。



## イ 非常食等の備蓄

災害が発生した後事態に備え、宿泊定員の 200 人分の乾パン、飲料水などの非常食や、非常用備品を予め備蓄します。

### (6) 閉園後及び休園日の対応

宿泊利用のない日は警備会社に機械警備を委託します。異常の場合、警備会社の警備員が現場に急行するとともに、消防署、警察署に通報します。

また、警備会社から園長又は、その他の職員に緊急連絡し、その後の対応を引き継ぎ、安全管理に空白のない体制をとります。

### (7) 補償体制

建物や建築物などの設備構造上の欠陥あるいは管理上の不備等により、利用者に身体的傷害や財物損壊を与えた場合、給食や食材が原因の事故への備えとして施設賠償責任保険をはじめとする各種の保険に加入します。

また、自主事業への参加者やスタッフのケガをした際の補償をするため、普通傷害保険に加入します。

#### ■保険明細

保険種類	保険内容	賠償限度額
施設賠償責任保険 旅館賠償責任保険	施設側の瑕疵により、利用者に対する身体及び物品等に損害が発生した場合の賠償保険	対人:1人につき1億円 1事故につき1億円 期間中1億円 対物:1事故につき1億円 期間中1億円
生産物賠償責任保険	施設で調理する給食や販売する食材など、提供する生産物の瑕疵により、利用者に対する身体及び物品等に損害が発生した場合の賠償保険	対人:1人につき1億円 1事故につき1億円 期間中1億円 対物:1事故につき1億円 期間中1億円
普通傷害保険	スタッフが活動中にけがをした場合に対応する傷害保険	死亡・後遺障害:1人につき350万円 入院保険金:1人1日4,500円 通院保険金:1人1日3,000円
スポーツ・レクリエーション保険	日帰りで行う野外活動教室の事前説明会で参加者がけがをした場合に対応する傷害保険	
国内旅行傷害保険	宿泊の野外活動教室で参加者がけがをした場合に対応する傷害保険	

## 6 地域との協力・連携

### (1) 教育施設協力町村受入事業(来浜事業)の実施

南伊豆町の小学校 5 年生全員を横浜へ招待し、施設見学等を通じて横浜への理解を深めていただきます。

### (2) 地元利用の受入

横浜市为学校や青少年団体の利用がない日には、地元の小・中学校などから利用を受け入れます。

### (3) 町内イベントへの出展

町民まつり「フェスタ南伊豆」に出店し、南伊豆町民へ学園の事業や協会が行うイベントなどを紹介します。

## 7 モニタリング

---

PDCA マネジメントサイクルに則り、計画から実践、評価、そして改善というプロセスを経て、さらに次の計画に反映させることにより、業務水準の向上につなげます。

### (1) 利用者アンケート

利用のたびに記入していただいたアンケートを、四半期毎に集計・分析します。

### (2) 事業評価会の実施

四半期毎に本部職員と事業評価会を実施し、収支状況や利用状況を分析し、今後の施設運営方法を改善していきます。

## 8 管理運営経費

---

### (1) 利用にかかる料金の収入計画

#### ア 給食費収入

給食費の提供価格は、安定した質の維持とお客様のニーズに対応したメニュー作りが可能である適正な料金設定をします。収入額は、過去3年間の実績に基づいた1人当たりの食数に目標の実利用者数を乗じた食数を基に算出しています。

#### イ プログラムにかかる材料費収入

平成24年度実績による実利用者1人当たりの単価153円に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### ウ シーツ洗濯代収入

寝具に使用するシーツは、基本的に宿泊者全員が利用期間中に1枚利用します。このため、収入額は、料金に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### エ 薪代等収入

薪や丸太などの使用量は、団体のプログラムや人数によって決まります。このため、収入額は、過去3年間の実績による実利用者1人当たりの単価に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### オ 光熱水費の実費収入

市民の一般利用は、閑散期のフリープランなどを積極的に展開します。

### (2) 自主事業の収入計画

#### ア 教室事業収入

教室事業については、募集人数に過去の実績を基礎とした参加率を乗じ算出しています。天候による変動を加味し、積算しています。

<別紙 自主事業一覧 参照>

## イ 飲食事業収入

特別料理や飲料等の料金は品目によって異なり、販売数量も一定ではありません。このため、収入額は、過去3年間の実績による実利用者1人当りの単価に目標の実利用者数を乗じて算出します。

## ウ 物販事業収入

プログラム用品の販売や自動販売機の収入は品目によって料金が異なり、販売数量が一定ではありません。このため、過去3年間の実績による実利用者1人当たりの単価に目標の実利用者数を乗じて算出します。

## エ その他事業収入

### (ア) レンタル収入

野外活動等に必要用具の貸出しや公衆電話などのレンタル事業の収入は、過去3年間の実績による実利用者1人当たりの単価に目標の実利用者数を乗じて算出します。

### (イ) 利用促進イベント

家族・グループ等を対象とした宿泊セットプランについては、学校等の団体利用が少ない時期や年末年始に実施するなど、積極的な利用促進を図ります。収入金額は、教室事業と同様の考え方から、想定収入額に参加率を乗じた金額を収入金額として見込んでいます。

## (3) 維持管理経費の節減

### ア 省エネルギーのさらなる取組

さらなる挑戦として、照明器具の省エネ調査（場所・適性・削減率）を行い、電気料削減を検討します。

### イ 委託・調達コストの縮減

業務委託契約等の契約期間は、原則として1年ですが、内容によっては、指定管理期間を限度とした長期契約を締結し、経費とともに事務管理コストの縮減を図ります。

### ウ 職員による小破修繕

日常点検時に発見する建物や設備の小破修繕は、職員が補修作業を行うことにより修繕費の縮減を図ります。

## 平成27年度 横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園「自主事業」

## (1)教室事業

事業名	開催期間	対象	内容	人数	参加費(1人)	募集期間
カヤック体験①	4月25日(土)～26日(日) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	3月17日(火) ～4月14日(火)
親子わくわく南伊豆	5月2日(土)～4日(祝月) 2泊3日	小・中学生と家族	クラブ、カッター体験、シーカヤック体験、ネイチャーゲームとハイキング、バーベキュー	45	中学生以上 12,000円 小学生 10,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	3月1日(日) ～3月31日(火)
カヤック体験②	5月4日(祝月)～5日(祝火) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	3月24日(火) ～4月21日(火)
カヤック体験③	5月9日(土)～10日(日) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	3月31日(火) ～4月28日(火)
カヤック体験④	6月6日(土)～7日(日) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	4月28日(水) ～5月26日(火)
カヤック体験⑤	7月11日(土)～12日(日) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	6月2日(火) ～6月30日(火)
やったぜGET! 釣り三昧	7月24日(金)～26日(日) 2泊3日	小学4年生 ～中学生と家族	船釣り、シーカヤック体験、クラブ	30	中学生以上 18,000円 小学生 16,000円	5月15日(金) ～6月30日(火)
わんぱく漂流記	8月3日(月)～5日(水) 2泊3日	小学4年～中学3年生	カッター体験、シーカヤック、シュノーケリング、自然観察、クラブ	40	24,000円	5月18日(月) ～6月30日(火)
サマーキャンプ 海の親子	8月7日(金)～9日(日) 2泊3日	小・中学生と家族	シーカヤック、海水浴、シュノーケリング、カッター体験、花火、バーベキュー、クラブ他	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	6月1日(月) ～7月12日(日)
親子キャンプ 夏の思い出	8月21日(金)～23日(日) 2泊3日	小・中学生と家族	シーカヤック、海水浴、シュノーケリング、カッター体験、昆虫採集(カブトムシ)、花火	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	6月1日(月) ～7月12日(日)
カヤック体験⑥	8月29日(土)～30日(日) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	7月21日(火) ～8月18日(火)
カヤック体験⑦	9月19日(土)～20日(日) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	15	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	8月11日(火) ～9月8日(火)
カヤック体験⑧	9月20日(日)～21日(祝月) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	15	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	8月11日(火) ～9月8日(火)
カヤック体験⑨	9月21日(祝月)～22日(祝火) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	15	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	8月11日(火) ～9月8日(火)
カヤック体験⑩	9月22日(祝火)～23日(祝水) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	15	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	8月11日(火) ～9月8日(火)
カヤック体験⑪	10月3日(土)～4日(日) 1泊2日	小・中学生と家族	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	8月25日(火) ～9月22日(火)
【新規】 秋の味覚三昧	11月21日(土)～23日(祝月) 2泊3日	小中学生と家族・一般	干物作り、焼き芋、バーベキュー、海鮮料理	40	中学生以上 12,000円 小学生 10,000円	9月1日(火) ～10月16日(金)
みなみの桜と菜の花 ハイク	2月20日(土)～21日(日) 1泊2日	小・中学生と家族	ハイキング、桜と菜の花見物、自然観察、温泉入浴	20	中学生以上 12,000円 小学生 10,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	12月14日(月) ～1月22日(金)
釣りに行こう!	3月19日(土)～20日(日) 1泊2日	小学4年生～中学生と家族・一般	船釣り	15	18,000円	1月1日(金) ～2月21日(日)

## (2) 飲食事業

(税込)

	内 容	料 金	単 位	提供方法
特別料理	フルーツセット A	3,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	フルーツセット B	2,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	刺身 Aセット	1,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	刺身 Bセット	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	サザエつぼ焼き (2個)	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	【新規】煮魚	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	【新規】ナマコの酢の物	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	【新規】特別料理Aコース	3,000円	1人分	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	【新規】特別料理Bコース	2,000円	1人分	予約販売、夕食事提供時の追加料理
飲料・その他	500ml ペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	150円	1本	予約販売
	500ml ペットボトル飲料 (ミネラルウォーター)	130円	1本	予約販売
	2000ml ペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	350円	1本	予約販売
	2000ml ペットボトル飲料 (ミネラルウォーター)	250円	1本	予約販売
	350ml 缶飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	250ml 缶飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	【新規】250ml 紙パック飲料 (お茶・ジュース類)	120円	1本	予約販売
	200ml 紙パック飲料 (お茶・ジュース類)	110円	1本	予約販売
	お菓子詰め合わせ A	200円	1袋	予約販売
	お菓子詰め合わせ B	250円	1袋	予約販売
	お菓子詰め合わせ C	300円	1袋	予約販売
	菓子パン	120円	1個	予約販売
	カップゼリー	100円	1個	予約販売
	プリン	100円	1個	予約販売
	カップめん	170円	1個	予約販売

## (3)物販事業

(税込)

内 容		料 金	単 位	備 考
	天草	500円	1袋	お土産品、予約販売
生活 用品 等	軍手	200円	1双	事務所販売
	軍手(子ども用)	150円	1双	事務所販売
	ビニールカッパ	300円	1個	事務所販売
	フェイスタオル	160円	1枚	事務所販売
	歯ブラシセット	380円	1本	事務所販売
	シャンプー・リンスセット(小)	300円	1セット	事務所販売
	電池 単1 2個パック	300円	1パック	事務所販売
	電池 単2 2個パック	250円	1パック	事務所販売
	電池 単3 4個パック	150円	1パック	事務所販売
	自動販売機(屋内設置1台)		110~150円	1本

## (4)レンタル等事業

(税込)

内 容	料 金	単 位	備 考
シーカヤック	1,540円	1日	小・中学校利用
シーカヤック	770円	半日	小・中学校利用
シーカヤック	3,080円	1日	一般団体利用等
シーカヤック	1,540円	半日	一般団体利用等
シュノーケリングセット	100円	1日	
コピー(白黒)	20円	1枚	
コピー(カラー)	100円	1枚	

## (5) 利用促進イベント事業

(税込)

日 程	料 金	内 容
<b>「秋のYOU・湯・遊」</b> 11月6日(金)～11月8日(日) 11月27日(金)～11月29日(日)	中学生以上 3,700円 小学生 3,500円 3歳～未就学児 3,300円 <料金に含まれるもの> (シーツ、夕食、朝食、特別料理、 光熱水費)  素泊り 2,000円 <料金に含まれるもの> (シーツ、光熱水費)	家族・グループ対象を対象とした1泊2食 付宿泊プラン・素泊プラン 家族の旅行やバイクツーリングの宿泊先 として利用可能 料金に含まれるもの(夕食、朝食、特別 料理、シーツ、光熱水費)
<b>「冬のYOU・湯・遊」</b> 12月4日(金)～12月6日(日) 12月11日(金)～12月13日(日) 1月15日(金)～1月17日(日) 1月22日(金)～1月24日(日) 1月29日(金)～1月31日(日)		
<b>「春のYOU・湯・遊」</b> 2月5日(金)～2月7日(日) 2月11日(祝木)～2月14日(日) 3月4日(金)～3月6日(日) 3月25日(金)～3月27日(日)		
<b>「お正月のYOU・湯・遊」</b> 12月29日(火)～1月3日(日)	中学生以上 4,700円 小学生 4,500円 3歳～未就学児 4,300円 <料金に含まれるもの> (シーツ、正月料理、光熱水費)  素泊り 2,000円 <料金に含まれるもの> (シーツ、光熱水費)	家族・グループ対象を対象とした正月1 泊2食付プラン  素泊りプラン
<b>「合宿プラン」</b> 12月1日(火)～3月31日(木)	中学生以上 2,500円 <料金に含まれるもの> (シーツ・夕食・朝食・昼食)	冬休み・春休みの日程に合わせて、中 学・高校・大学の部活やサークルを対象 とした1泊3食付のプラン、食事増量分は 応相談
<b>「横浜市立小学校教員向けプラン」</b> 6月27日(土)～6月28日(日) 8月6日(木)～8月7日(金)	ひとり 5,000円 <料金に含まれるもの> (バス送迎、シーツ、夕食、朝食、 光熱水費)	南伊豆臨海学園での体験学習利用を目的 的に、横浜市立小学校教員に限定した 体験プラン

### 収支予算書

#### 1 指定管理・収入の部(平成 27 年度)

##### (1)収入 ※指定管理料を除く

	内 訳	合計金額 (円、税込)	
利用にかかる料金収入 (A)		20,192,760	
目	給食収入	給食収入	14,931,000
	材料等収入	クラフト代等収入	835,920
	シーツ代収入	シーツ利用収入	1,269,000
	薪代収入	野外炊事用薪代、キャンプファイアー用薪、丸太代等	200,880
	光熱水費収入	利用者光熱水費実費負担収入	561,600
	自主事業還元収入	自主事業収支差益還元	2,394,360

##### (2)指定管理料を含めた収入合計

	内 訳	合計金額 (円、税込)
利用にかかる料金収入 (A)		20,192,760
指定管理料 (B)		56,603,000
収入合計 (A) + (B)		76,795,760



## 収支予算書

### 2 指定管理・支出の部(平成 27 年度)

	積算内訳	合計金額 (円、税込)
① 維持管理運営費用		76,795,760
項目	人件費	29,400,000
	設備管理費	2,637,360
	保安警備費	349,920
	外構・植栽管理費	103,880
	廃棄物処理費	216,000
	報償費	540,000
	旅費交通費	540,000
	消耗品費	1,296,000
	燃料費	2,592,000
	印刷製本費	23,760
	修繕費	972,000
	通信運搬費	583,200
	支払手数料	648,000
	保険料	310,000
	広報費	108,000
	使用料・賃借料	1,350,000
	委託料	12,021,480
	備品購入費	324,000
	公租公課費	50,000
	光熱水費	6,372,000
	会費及び負担金	194,400
	間接事務費	1,619,000
	給食材料費	10,452,240
材料費等	390,960	
シーツ代	1,015,200	
薪代	165,240	
食糧費	10,800	
租税公課費	2,510,320	

### 収支予算書

#### 3 自主事業・収入の部(平成 27 年度)

		内 訳	合計金額 (円、税込)
② 自主事業による収入			10,353,960
項 目	教室事業	教室参加料収入	6,306,120
	飲食事業	特別料理、野外炊事用食材等販売収入	2,192,400
	物販事業	自販機収入、物品販売等収入	228,960
	その他事業	公衆電話、レンタル事業、フリープラン等参加料収入	1,626,480

収支予算書

4 自主事業・支出の部(平成 27 年度)

		内 訳	合計金額 (円、税込)
② 自主事業による経費			10,353,960
項 目	教室事業	教室運営にかかる経費	5,631,120
	飲食事業	特別料理、食材等の販売にかかる経費	1,760,400
	物販事業	自販機、物品販売にかかる経費	154,440
	その他事業	公衆電話、物品レンタル、利用促進イベントでの経費	413,640
	指定管理事業還元支出	自主事業収支差額	2,394,360